

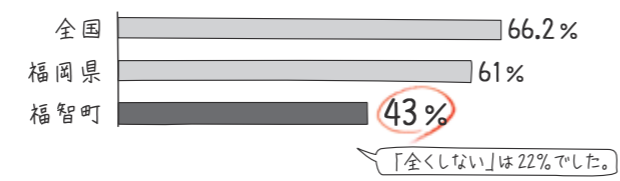
① つまずきの克服（小中一貫教育とは）
「中1ギャップ」をはじめ、学校現場が抱える多くの課題の解消を目指す一つ的手段として、文科省が推進する「小中一貫教育」が、いま全国で注目を集めています。
9年間の成長を連続とらえるこの制度は、学力向上はもちろん、異学年の交流から豊かな人間性や社会性をはぐむ効果が期待され、導入した先進地は、小中の情報共有や連携、一体的な対応によって、不登校や問題行動が激減したと成果を発表。現在、全国的に今後の小中学校のありかたについて模索されています。



←町教育委員会でも検討

福智の子の課題
中学生の家庭学習時間が短い
テレビゲームをする時間が長い
新聞やテレビのニュースに関心が少ない

Q. 学校の授業以外に、平日1日どれくらい勉強しますか？
→「1時間以上」と答えた中学3年生の割合



各校の活動紹介②
金田小
言葉の学習
いじめにつながる「言葉」を見直すため、金田小では全学年で言葉づかいを指導。あたたかい言葉を集めた「なかよしカルタ」も全児童で作成しました。

interview

まず大人が心を一つに

教育現場には今、多くの課題があり、学校・家庭・地域の分業論は限界が来ています。「学校が悪い」「家庭が悪い」というスタンスではなく、先生と保護者、また保護者同士も、福智の子どもを育てる同じ大人として、強く連携する必要があります。互いに心を開いて



金田中PTA
尾崎真二 会長

一步踏み出せば、何かが変わるはず。今後さらに課題を出し合ってコミュニケーションを図りたいと思っています。

高めることができませんが、そこには家庭と地域が深くかかわっています。
つまずき
学びと心の
学ぶ意欲は、子どもたちの心の健康とも密接につながっています。例えば、小学6年生は多感な思春期に、今までの環境の違う中学校というステージへ飛び込んでいきます。学習や生活の変化にまじめず、いじめなどが増加する「中1ギャップ」と呼ばれる現象が起ころるものところ。文科省の調査によると、小6から中1にかけての1年間で、いじめは1.8倍、不登校は3.1倍、暴力行為は4.3倍に急増しています。このような状況は福智町も例外ではなく、子どもたちの学ぶ意欲に影響を及ぼしていることは言うまでもありません。
学校現場が「中1ギャップ」をはじめとする多くの課題を抱える今、その解消を目指すために、周囲の大人が子どもたちの心に寄り添える環境づくりが求められています。

「全国学力・学習状況調査（4月実施）」の平均正答率（%）

→県内6教育事務所、政令市（福岡市・北九州市両市）、全国および福智町の平均

	小学校（6年生対象）				中学校（3年生対象）			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
福岡	83.9	77.2	73.6	49.2	77.1	70.5	66.6	47.7
北九州	80.9	72.8	72.2	46.2	73.4	65.6	58.3	38.8
北筑後	83.1	75.9	72.2	48.8	73.9	67.0	62.1	42.7
南筑後	83.9	77.1	74.8	51.0	74.3	67.8	61.2	42.9
筑豊	79.3	69.1	68.9	43.2	68.3	58.9	52.5	33.3
京築	82.6	74.2	73.1	47.1	72.0	62.1	59.3	37.8
政令市	83.2	75.9	72.8	49.3	75.8	68.8	63.5	44.3
全国	83.3	77.8	74.2	49.3	75.1	65.3	64.6	43.3
福智町	79.3	69.1	71.4	43.7	68.9	60.5	53.4	33.1

A:基礎 B:応用



子どもたちの今をとらえる
このままでいいのか

「比較することはよくない」。学力を考えると、まずこの言葉が議論にあがります。しかし将来、競争化が加速した厳しい社会に立つのは、子どもたち自身です。地域が抱える「学力低下」という深刻な課題。この克服のためには、表面だけではなく、その本質に目を向ける必要があります。

全国で示された
福智の学力初公開

筑豊地区の学力が危ない。9月に発表された「全国学力・学習状況調査」の結果で、全国や福岡県の他地区より、筑豊地区の学力が、かなり低いことが明らかになりました。福智町は、筑豊地区の中ではやや上の位置ですが、筑豊地区は、小・中ともに県内で全項目の正答率が最も低い結果となっています。またこの調査で、正答率の低い地域では「夜寝る時間が遅い」「朝食を食べない」といった子どもが多いという傾向が示されました。

根底にある
学ぶ意欲の低下

学力低下の要因は「学ぶ意欲の低下」にあるといわれています。学ぶ意欲とは、目標の達成や課題の解決に向けて、自ら学び、考え、最後まで取り組もうとする気持ちや態度のこと。学習面はもちろん、生活面や体験活動など、



各校の活動紹介①
市場小 研究授業

教員同士が授業を評価し合う校内研修を町内各校が実施。市場小では、全国の有名教師を招いた研究授業も行われ、指導力の向上に努めています。

あらゆる場面での「学びたい」「知りたい」といった前向きな意欲も含まれます。今の子どもたちが抱える「生活リズムの乱れ」「体験不足」「学ぶ意義を理解していない」「人間関係を築けない」などの問題が「学ぶ意欲の低下」につながっています。子どもたちの体験を豊かにし、日々の生活習慣を守り、幅広いことに興味や関心を持たせることで、学ぶ意欲を